



平成 29 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

短期入所生活介護

大津みやび野ホーム短期入所生活介護

平成 29 年度 事業目標

<p>目 標</p>	<p>満足度の高い余暇プログラムを実施する。 (5段階評価のアンケートで余暇に対する評価を4以上とする)</p>
<p>理 由</p>	<p>リハビリ体操やレクリエーションは毎日実施できているが、年1回実施しているアンケートの結果では余暇活動における満足度が低い傾向にあった。実際に内容のマンネリ化や個々の職員の差によって提供内容にもバラつきが見られたため、誰もが一定以上の余暇活動を提供できる必要性を感じたため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所からリハビリにおける外部研修に参加し、内容や方法等の研修をショートステイ会議の場で実施する。 2. 日々の余暇活動だけでなく、定例行事を導入する。 (手作りおやつ：毎月5日・25日 喫茶イベント：第一・第三水曜日 カラオケ大会：毎週日曜日) 3. ショートユニット会議(1回/2ヶ月)にて計画・取り組みの現状報告・情報の共有と周知を図る。 4. 毎年実施しているアンケート内容を、満足度を数値化したものに変更し、提供しているサービスを客観的に評価できるようにする。

平成 29 年度 事業報告

事業報告	<p>日々の余暇活動だけではなく、外出やおやつ作りを定例行事としたことで、余暇活動の幅を広げることができた。ショートステイ会議において利用者情報を共有すべく現状の報告、今後の予定についての検討を行うことができたため、今後も引き続き実施していくこととする。</p> <p>平成 29 年度アンケート結果（回収率 55%）では余暇活動について 5 段階評価（5 が最も良い）で 4 以上が 64%、3 以下が 14%、不明・わからないが 22%となり、満足度の向上を図ることが出来た。ただ、定例行事に参加できない方もおられるため、その方々に対してどのような活動を提供していくのかを検討していくとともに、日々の様子をショートステイ専用の広報誌や連絡帳を活用してフィードバックしていく必要性を感じている。</p>
事業運営総括	<p>平成 29 年度の年間稼働率は 92.5%であり、平成 28 年度と比較すると 5.8%上昇がみられた。継続的に利用されていた方も長期入院、他施設入所となり突然のキャンセルが続き、稼働率も伸びない時期があったものの、居宅介護支援事業所との関わりを密にすることで年間稼働率の上昇につなげることができた。月単位で見ると月初め及び月末の稼働率が低めであり、中旬頃に利用が偏る傾向にあるため、利用者のニーズを把握しながら安定した運営を図る必要を感じている。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.20》

平成29年3月31日 現在

	人数	割合
要支援 1	0	3%
要支援 2	1	3%
要介護 1	8	23%
要介護 2	12	41%
要介護 3	8	15%
要介護 4	6	19%
要介護 5	3	8%
合計	38	100%

月間利用実績（人数）

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
要支援 2	1	2	1	1	2	3	2	4	1	1	1	1	20
要介護 1	13	12	9	8	7	7	6	6	4	8	10	8	98
要介護 2	11	13	12	9	9	7	12	9	9	11	14	12	128
要介護 3	6	5	5	6	7	7	6	6	6	7	5	8	74
要介護 4	8	9	8	7	7	7	9	7	10	8	6	6	92
要介護 5	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2	3	10
合計	39	42	35	32	33	31	35	32	30	38	38	38	423

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 92.5%》

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
要支援 2	3	5	6	1	12	18	12	32	8	7	8	9	121
要介護 1	59	70	52	55	36	32	24	24	32	30	36	27	477
要介護 2	70	51	50	43	50	39	75	55	58	73	66	69	699
要介護 3	30	51	62	78	82	85	62	69	61	60	42	58	740
要介護 4	119	110	120	94	77	108	113	94	113	106	90	83	1,227
要介護 5	0	2	0	30	26	0	0	0	0	5	5	39	107
合計	281	289	290	301	283	282	286	274	272	285	247	285	3,375

曜日別延べ利用実績

平成29年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人数	482	452	481	486	489	502	483	3,375
割合	14%	13%	15%	14%	14%	15%	14%	100%

1週当り平均利用人員

平成29年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人数	9.26	8.69	9.25	9.34	9.4	9.47	9.28	64.69	9.24
割合	14%	13%	14%	14%	15%	15%	14%	100%	—

年齢別構成状況

平成30年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	1	0	2	1	3	2	9
女	0	0	0	4	8	9	8	29
全体	0	1	0	6	9	12	10	38

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	お花見ランチバイキング	塗り絵	ラジオ体操 計算問題
5月	すぐりはら交流会	塗り絵	ラジオ体操 カルタゲーム
6月	バーベキュー つくしの会交流会	あじさいドライブ 塗り絵	ラジオ体操 トランプ
7月	七夕笹飾り	ちぎり絵・塗り絵	ラジオ体操 数字合わせゲーム
8月	夏祭り	折り紙	ラジオ体操 ボーリングゲーム
9月	敬老会	ハロウィン飾り作り	ラジオ体操 合唱
10月	秋祭り	漢字トレーニング	ラジオ体操 マッサージ
11月	箏曲演奏会	漢字トレーニング かざり作り	ラジオ体操 数字合わせゲーム
12月	クリスマス会	クリスマス飾り作り 餅花作り	ラジオ体操 カラオケ
1月	初詣	折り紙 漢字トレーニング	ラジオ体操 トランプ、かるた
2月	節分豆まき	ちぎり絵・塗り絵 計算問題	ラジオ体操 数字合わせゲーム
3月	ひなまつり会	塗り絵 合唱	ラジオ体操 トランプゲーム 数字合わせゲーム

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	喫茶レクリエーション	おやつ作り 塗り絵 計算問題	リハビリ体操 カラオケ

避難訓練の実施状況

実施日	訓練種目	訓練内容
5月17日	みやび野合同避難訓練	みやび野エリア事業所合同避難訓練の実施（厨房）
6月30日	夜間体制訓練	夜勤業務従事者に対して夜間体制・避難訓練の流れの確認
8月31日	日中体制訓練	日中体制による避難訓練、放送、通報機器の使用確認
9月27日	日中体制訓練	日中体制による避難訓練、放送、通報機器の使用確認
11月29日	合同緊急対応訓練	みやび野エリア事業所合同での火災対応設備の確認及び簡易担架の作成法等緊急対応の確認
12月27日	夜間体制訓練	夜勤業務従事者に対して夜間体制・避難訓練の流れの確認
1月24日	夜間体制訓練	夜勤業務従事者に対して夜間体制・避難訓練の流れの確認
3月8日	消防署立会い訓練	消防署立会いのもと、夜勤業務従事者に対して夜間体制・避難訓練の流れの確認

苦情対応

受付日	苦情内容	苦情対応
平成 28 年 8 月 26 日	<p>「連絡帳の記述内容について」</p> <p>連絡帳の 1 日の様子の記述が「失禁がありました」というごく簡素な一文のみであった。以前に面会に来ている時間帯に起こったことは記入しなくてよいとは伝えしたが、記載内容にもっと配慮するべきではないかと指摘を受ける。</p>	<p>①一日の様子を知る手がかりであるはずの連絡ノートで記載が不十分であったために不快な思いをさせてしまったことについて謝罪を行う。</p> <p>②生活相談員からミーティングや職員会議の場でユニット職員にも今回の苦情内容を伝え、記述のしかたについても周知を図る。</p>
平成 29 年 11 月 9 日	<p>「報告のあり方について」</p> <p>以前に利用された方のご家族が来園され、ここを利用中に転倒したがその時にちゃんとした説明がなかったと指摘を受ける。その際に他のケアについても不信感があったと話される。</p>	<p>①実際には転倒の事実は速やかにご家族に連絡をし、ご家族も状態の確認にいられていたが、誤解をされている部分もあると思われたので後日、相談員が記録を持参して自宅を訪問し、再度説明を行うことで納得をしていただく。</p> <p>②他のケアにおける不信感も誤解が元になっている部分もあったため、併せて説明を行うとともに、しっかりと伝えきれていなかった報告の不備を謝罪する。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 28 年 9 月 19 日	<p>「転倒による骨折」</p> <p>早朝 4 時に居室より出てこられ、トイレ前にて扉を開けようとした際にバランスを崩され転倒し腰を打たれる。体動時に腰の痛みがあり、家族と相談し、20 日姫路愛和病院を受診し、第一腰椎圧迫骨折と診断される。</p>	<p>①ある程度の日常生活行為を自力で行われる方に対してはナースコールの説明と、こまめに居室を確認する。</p> <p>②本人への声掛けを都度行いながら、必要に応じてトイレへの付き添いや一部介助を行う。</p> <p>③居室へのポータブルトイレの設置も本人と相談の上、実施する。</p>
平成 28 年 10 月 2 日	<p>「加算の誤算定」</p> <p>平成 27 年度より機能訓練体制加算を算定していたが、平成 28 年の 5 月から 8 月までの 4 ヶ月間算定要件を満たしていないにも関わらず、加算取り消しの申請を怠ったことで誤って算定を続けてしまっていた。</p> <p>速やかに保険者である姫路市に連絡を行い、過誤請求を実施し、家族にも誤算定の加算分金額を返金していくこととなる。</p>	<p>①常に加算要件を確認するために定期的に加算要件が満たされているかどうかの確認を徹底する。</p> <p>②加算要件を施設長や生活相談員だけでなく、ショートステイの担当職員にも伝えることで、気づける体制づくりを行う。</p>